

うえだ 5.1

平成23年
No.123

CONTENTS

- 2 復興支援の絆
- 9 後期基本計画
- 12 自治基本条例が制定
- 14 地域医療教育センターが開設
- 16 情報びっくあっぷ
- 18 情報あ・ら・かると
- 23 キラリ☆輝くこどもたち！
- 25 情熱地域
- 26 四ツ葉スケッチ
- 28 読者通信



東北地方太平洋沖地震発生

3月11日

午後2時46分頃、東北地方を中心とする東日本の広い範囲でM9.0の強い地震。

長野県北部の地震発生

3月12日

午前3時59分頃、長野県北部を震源とする震度6強の強い地震が発生。

「東北地方太平洋沖地震」「長野県北部の地震」にかかる対策会議を開催。福島第一原子力発電所第1号機で水素爆発発生。福島第一原発の事故・トラブルについて、国際評価尺度(INES)をレベル4と暫定評価。

3月14日

福島第一原発第3号機で水素爆発発生。

3月15日

午後10時31分頃、静岡県東部を中心に同県富士宮市で震度6強を観測する地震。福島第一原発第4号機で火災発生(16日も発生)。

3月18日

福島第一原発の事故・トラブルについて、国際評価尺度(INES)をレベル5に引き上げた。

3月23日

福島県いわき市で震度5強を記録する地震が相次いだ。東日本大震災の余震とみられる。

3月26日

3月26日・27日、宮城県蔵王町・塩竈市へ、義援金と、ゴム手袋、軍手、乾電池、紙オムツ、食料などの救援物資を届けた。

3月29日



復興支援の絆

千年に一度といわれる災害。東日本大震災、長野県北部の地震は各地に甚大な被害をもたらした。市が、市民が様々な形で、被災地への復興支援活動に取り組んでいる。



母袋市長と南波議長が、長野県栄村に伺い、島田村長に義援金を手渡し、お見舞いと復興に向けた激励をした。





3月18日～27日、日本水道協会からの要請に基づき、宮城県塩竈市にて延10名の職員が給水活動を実施。宮城県白石市と蔵王町へ、義援金と、非常食、紙おむつ、粉ミルク、哺乳ビン、消毒用アルコール、ブルーシートなどの救援物資を届けた。

被災者へのお見舞いと生活再建支援のため、義援金を送金しました。
岩手県・宮城県・福島県・
長野県栄村へ、各1,000万円
茨城県・千葉県へ、各500万円



4月5日～8日、長野県からの要請を受け、保健師2名と支援職員2名を岩手県陸前高田市に派遣。

3月29日～4月4日、日本下水道協会からの要請に基づき、宮城県塩竈市に職員1名を派遣し、下水道管の被災調査を実施。

東北地方太平洋沖地震による災害、およびこれに伴う原子力発電所による災害について、「東日本大震災」と呼称することとする、と菅総理が発表。

3月30日

消防庁の引き上げ命令により、緊急消防援助隊が現地を引き上げ、応援活動を終了した。

4月1日



4月16日・17日、市民有志と上田市、社協が協働し、岩手県大槌町で浸水家屋の土砂の除去などの災害救援ボランティア活動を実施。

4月3日

4月5日

4月9日～13日、日本水道協会からの要請に基づき、宮城県登米市に職員4名を派遣し、給水活動を実施した。

4月11日

岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県へ被災者支援のための義援金を送金。

4月12日

4月12日～18日、長野県栄村からの要請を受け、住宅被害認定調査の支援のため、職員3名を派遣し、応援活動を実施。

4月15日

福島第一原発の事故・トラブルについて、国際評価尺度 (INES) をレベル7に引き上げた。

4月25日

長野県からの要請を受け、保健師2名と支援職員2名を4月25日から29日までの予定で、岩手県陸前高田市に派遣。

避難者の対応と放射線の影響

○避難者の受け入れ

被災地からの避難者の受け入れについては、市営住宅や公共施設等での受け入れを行っています。受入相談は、住宅課へお問い合わせください。

なお、空き住宅を提供いただける場合は、お手数ですが住宅課までご連絡ください。

○避難者の生活相談など

福祉課では、被災地より避難されてきた世帯の状況に十分配慮し、生活保護制度をはじめとした社会保障制度の活用などの生活相談を行っています。

また、避難者の状況に応じて、関係各課でも相談を行っています。

○放射線による影響

①福島第一原子力発電所の事故による放射線の影響については、長野県環境保全研究所において、常時「空間放射線量」の測定と、3月18日から「上水（蛇口水）」と「降下物（大気中から降下してくる塵など）」の放射能濃度測定を実施しており、健康に影響はありません。

詳細は、長野県ホームページで確認できるほか、相談電話（TEL 026・235・7418）にお問い合わせください。

②上田市の水道水への影響については、3月24日に上田市の浄水場（全5地点の水道水）を採取し、財団法

人食品環境検査協会にて検査した結果、放射性物質は検出されませんでした。

③農作物への影響については、3月24日に上田市のほ場で採取したホウレンソウを長野県環境保全研究所が検査した結果、食品衛生法の暫定規制値を超える放射性ヨウ素、および放射性セシウムは検出されませんでした。詳細は長野県ホームページで確認できます。

・食品の安全等に関する相談窓口
上田保健福祉事務所食品・生活衛生課
TEL 25・7152

・農作物や家畜の生産管理技術に関する相談窓口
上小農業改良普及センター
TEL 25・7157

災害に伴う地域経済の影響と対策

東日本大震災、長野県北部の地震による、全国的なサプライチェーン（調達・供給網）の混乱や個人消費減退の影響を上田市内の事業所も受けています。

このため、上田市（商工課）は、商工会議所、商工会、金融機関、信用保証協会などで構成する地域経済連絡会議を3月29日に開催し、市内の事業所が受けている具体的な影響について情報を共有し、対策を協議しました。

関係機関から報告された具体的影響

- ・観光業では、旅館・ホテルの宿泊キャンセルが相次いでいます（3月29日現在の数字）。別所温泉（約6,000人）、鹿教湯温泉（約4,300人）、菅平高原（約3万5,000人）
- ・一部の製造業では部品や原材料不足に伴い、生産を停止・縮小し、従業員の一時帰休を行わざるを得ない状況となっています。
- ・建設業では資材の不足や値上がりが問題となっています。
- ・卸・小売業では商品によって仕入れが困難になっており、個人消費の減退による影響も懸念されます。

今後の対策

市内中小企業の業績や雇用情勢の悪化が懸念されるため、経営および雇用の維持・安定を図るための資金繰り支援を、次のとおり関係機関が連携して行っていくことを確認しました。また、関係機関から市に対し、市融資制度の拡充について要望が出されました。

○信用保証協会

- ・今年3月末までの景気対応緊急保証の終了に伴い、セーフティネット5号認定の対象業種が全業種（1,118業種）から740業種に縮小される予定でしたが、震災に伴う緊急的対応として、23年度上半期は全業種を対象とします。

○金融機関

- ・資金繰り相談について、新たな借入を起すべきか、既往債務の返済負担の軽減（元金返済猶予等の条件変更）をすべきか、事業者にとってより良い方法を個別に対応していきます。

○商工会議所、商工会

- ・特別相談窓口を開設し、資金繰りに関する市や金融機関との連絡調整など、きめ細かい対応を図ります。

○上田市（商工課）

- ・会社訪問や関係機関との連携によるアンケート調査により、引き続き状況把握を行います。
- ・金融機関の債務の条件変更については、市として柔軟な対応を要請していきます。
- ・市融資制度については、「経営支援資金等の借り換え要件の緩和期間の1年延長」と「主要資金の利率引き下げ」を行います。また、「経営支援資金の利子補給」の実施について検討します。

○東京電力(株)による「仮払補償金」

東京電力(株)では、福島第一原子力発電所の事故に伴う避難者に対して、当面の必要な資金を「仮払補償金」としてお支払いすることとなりました。

対象は「避難」・「屋内退避」が指示された地域の方々です（1世帯あたり100万円、単身世帯75万円）。

専用の相談窓口「東京電力(株)福島原子力補償相談室（TEL0120・926・404）」が4月28日に開設されましたので、詳細はお問い合わせください。

東日本大震災における「災害ボランティアバスパック」を募集

上田市社会福祉協議会上田ボランティア地域活動センターでは、ボランティアの皆さんの力をお借りし、東日本大震災における支援活動、「災害ボランティアバスパック」を実施します。市では、市民協働活動として、バスによる移動、および宿泊場所の確保などの支援を行います。大勢のボランティアのご参加をお待ちしています。

●募集人数など

1行程につき20人以上30人まで。移動日を含め4日以上ボランティアが可能な方。

●活動予定日

- ① 4月28日(木)～5月1日(日) ② 5月6日(金)～9日(月)
 - ③ 5月13日(金)～16日(月)(申込締切5月2日(月))
 - ④ 5月20日(金)～23日(月)(申込締切5月10日(火))
 - ⑤ 5月27日(金)～30日(月)(申込締切5月17日(火))
- (①②は申込受付を終了しました)

●活動内容

被災家屋の土砂のかき出しや家屋の清掃、瓦礫^{がれき}の撤去などが主な活動になりますが、現地スタッフの指示により、内容が変わります。

●活動予定地

現在、宮城県内の8市町(亘理町、岩沼市、名取市、多賀城町、塩竈市、東松島市、石巻市、気仙沼市)、並びに岩手県内を予定。現地のニーズにより、活動先が決定します。

●申し込み・ボランティア保険の加入

「災害救援ボランティア」の登録と「ボランティア活動保険(天災タイプ)」への加入を、上田・丸子・真田・武石ボランティア地域活動センターで行ってください。

●ボランティア心得

災害救援に限らず、ボランティア活動は自己完結が基本となります。なお、宿泊料は自己負担とし、必要準備品などについては、最寄りの同センターまでお問い合わせください。詳細は、上田市社会福祉協議会ホームページ、または上田市ホームページをご覧ください。

問 上田市社会福祉協議会、ボランティア地域活動センター

上田／TEL25・2629 TEL27・2025 丸子／TEL43・2566 真田／TEL72・2998 武石／TEL85・2466



メール配信で災害支援に必要な情報をお届けします

上田市では、市内の災害支援を行う団体からの物資の要望や現地の状況などの災害支援情報を、市民にメールでお知らせします。

市民に協力をお願いしたい災害支援情報のメール配信を希望する団体は、ご登録ください。登録方法は、上田市ホームページをご覧ください。登録後、物資の要望や現地の状況などの情報を受け付けます。

メール配信に登録した市民の皆さんに、災害支援情報をメール配信します。また、ホームページに掲載します。メール配信の登録は、下記のバーコードから登録できます。詳しくは、広報うえだ3月16日号、または上田市ホームページをご覧ください。

災害支援情報により、物資の提供などにご協力いただける方は、直接支援団体にご連絡ください。

問 危機管理室 TEL21・0123

秘書課 TEL23・5149



義援金を受け付けています

「東北地方太平洋沖地震」と「長野県北部の地震」の被災地への義援金を受け付けています。被災した方への支援にご協力をお願いします。

●日時

土日・祝日を除く当面の間、午前8時30分～午後5時15分

●募金箱設置場所

- ・市役所本庁舎・南庁舎・北庁舎、教育委員会やぐら下庁舎、ひとまちげんき・健康プラザうえだ、丸子・真田・武石・豊殿・塩田・川西地域自治センター
- ・社会福祉協議会(上田・丸子・真田・武石地区センター、上田市高齢者福祉センター、丸子・真田老人福祉センター)

●送金先 寄せられた義援金は、東北地方太平洋沖地震の被災地には日本赤十字社を通して、また、長野県北部の地震の被災地には、栄村震災義援金受付口座へ送金します。

●その他 義援金は、所得税などの寄付金控除の対象となります。領収書が必要な方は、福祉課、および各地域自治センター窓口までお申し出ください。

問 福祉課 TEL22・4100(内線1605・1990)

炊き出し支援

上田商工会議所建設業部会

被災者の皆さんに
温かい食料を届けたい。

上田商工会議所は建設業部会を中心に、これまで3回被災支援活動を実施。第1隊として3月19日・20日に参加した、同部会長・宮下勝久さんと、上田商工会議所産業振興課の小林和男さん、総務課の山崎博昭さんにお話を伺いました。

緊急召集で避難所への
炊き出し支援を即決

同部会は、災害発生直後の3月14日、阪神淡路大震災の災害支援を実施した部会員からの支援活動の提案を受け、急きよ役員会を開催しました。

「いてもたってもいられない気持ちで集まった。部会としてできることを考えた結果、温かい物を食べさせてあげたいという思いで一致。被災地と

やとつながった電話で即決した」と宮下部会長は言います。

被災地に到着
惨状に言葉を失った

様々な応援を受け、部会員を中心とした有志25名は、3月19日早朝、トラック10台と連絡車両1台で上田を出発し、宮城県仙台市宮城野区の避難所の一つである仙台市立中野栄小学校に到着しました。

「被災地の現状を目の当たりにし、言葉を失った」と宮下さん。「仙台市は、海が近くにつれてひどい状況になっていった」と山崎さんはいいます。

エールを届けるつもりが
逆に元気づけられる

炊き出し支援は、19日夜に中野栄小学校で豚汁とおにぎりを約2000食、また、翌20日昼には岩沼市民会館で約1700食を被災した方々にふるまいました。

上田市特産の上田みどり大根入りの具沢山の豚汁を受け取った被災者に、



「この緑色の鍋は何といるのか？と聞かれた(笑)。鍋釜の大きさにも驚いていた」と宮下さん。

「感謝の言葉を多数いただいた。また、被災者からは復興に向けて頑張ると力強い言葉もあり、凄惨な状況と深い悲しみのなか強い思いを感じる事ができた。支援というエールを届けるつもりが、逆に元気づけられ、支援活動が無駄ではなかったことを実感した」と宮下さんは少し涙ぐみながら話してくれました。

つながりの強さを実感
緊急事態の対応は見事

迷惑をかけないために、炊き出し用の燃料、給油のためのタンクローリー、仮設トイレ、発電機などを持参。「寒さをしのぐ断熱材を布団代わりに持っていた」と建設関係者らしいエピソードも。

「建設業部会のつながりの強さを実

感じた。緊急事態の対応は見事。わずかな準備期間の中、忘れ物が一切なかったことは素晴らしい」と山崎さん。
**今後も継続的に
支援活動を実施**

「避難者同士のコミュニティが必要であることがわかった。いつまで続かないかわからない、プライバシーのない空間で過ごすのはかなりのストレスだと思ふ。温かい鍋の次は、熱い風呂かな」。宮下さんは今後の支援活動について力強く話してくれました。

「上田商工会議所として、今後も様々な角度から支援活動を実施していきたい」と小林さんは話します。



部会長 宮下勝久さん



上田城南ライオンズクラブ

日常生活に必要な物資を届けたい。

上田城南ライオンズクラブは、3月11日の地震発生を受け、3月17日に緊急会議を開催し、「報道を見るにつけ、今、被災地に必要なのは物資ではないか、とにかく早く届けたい」と救援物資を集め、3月23日から25日まで被災地に直接届けることを決定しました。

支援活動隊の一員として参加した、同クラブ幹事の喜多友一さんと、同クラブ会長の角田峰雄さんに、活動実施までの経過や実際に被災地での活動についてお話を伺いました。

東北3県から支援要請の回答を得て活動実施へ

ライオンズクラブは日本全国に単位クラブがあり、地域の実情や住民のニーズをいち早く得ることができる団体です。上田城南ライオンズクラブは、現在36名の会員で少年野球大会の開催、献眼登録活動など、地域貢献活動に取り組んでいます。

同クラブは、宮城県・福島県・岩手県のライオンズ事務局へ支援の必要について問い合わせ、宮城県と福島県から支援要請の回答を受けました。翌18日から会員らに呼びかけ、4日

間で多くの救援物資が集まりました。上田市に届けられた救援物資とともに、ダンボール箱で約600個の救援物資を準備しました。

奉仕の気持ちに支えられたメンバーからももらった元気

3月23日夜、上田を出発し、歪んだ高速道を通り、翌24日朝に福島県猪苗代町へ到着。福島県ライオンズクラブへ救援物資300箱を受け渡し、夕方ようやく上田に戻ってきました。

また、3月24日夕方に出発し、翌朝、宮城県塩竈市に到着。いずれも、トイレトペーパー、家庭用医薬品、灯油などを大量に運んだ物資搬送の4トトラック2台での出動でした。



幹事 喜多友一さん

作業終了後、上田へ発つとき、ライオンズのメンバーから顔を見て握手され、「また、必ず来てください。私たちも上田へ必ず行きます」といわれたのが本当に嬉しかったと喜多さん。今回の行動は間違っていないかったと感じたといいます。



会長 角田峰雄さん

「塩竈市に近づくにつれて、悲惨な風景になり言葉を失った」と喜多さん。ライオンズクラブのメンバーは、避難所での生活を送りながら、ボランティア活動に参加しています。

「メンバーのなかには、震災で家族を亡くしてしまった人もいます。つらいはずなのに、とにかく元気に活動していた。元気にしていないと落ち込んでしまうのではないかと喜多さんはいいます。



全国の情報網を生かし 継続的支援を実施したい

支援活動を終え、「これで終わらせてはいけません。次に何ができるかを考えた」と喜多さん。「今後の計画については、先方と連絡を取り合い、ニーズとタイミングをとらえ、上田城南ライオンズクラブとしてできることを話し合っていきたい。福島県と宮城県には、ぜひ支援を続けていきたい」と角田さんは、継続的な支援活動の必要性を話してくれました。

医療支援

東信医療生協

医療現場のスタッフと被災者を助けたい。

東信医療生活協同組合の第一次支援隊として、3月17日から21日まで、宮城県で支援活動を行った、同組合看護部長の大池啓子さん、組合員活動部長の清水竹子さん、看護師の古市雅登さんの3人のうち、大池さんと清水さんにお話を伺いました。

凄惨な光景を目の当たりにし絶句：：

3月17日夕方、宮城県塩竈市・坂総合病院に到着。

「仙台北インターチェンジを降りると言葉が出ないほどの、津波の被害の甚大さを目の当たりに。廃虚となった光景に、被災地の凄まじさ、痛ましさを感じた」と大池さん。

病院では外来と夜勤業務に携わった

「できれば避難所を訪問したかったが、病院が私たちを必要としてくれたのでがんばろうと思った」と清水さん。翌18日、泉病院の支援に入るため、他県からの看護師4人と移動しました。同病院では、地震当日は90人の入院患者を避難させるために、休みの職

員やボランティアが駆け付けて対応したそうです。この日、清水さんは外来患者、大池さんと古市さんは夜勤のサポートに回りました。

「泉病院は脳神経外科が専門の病院。血圧の飲み薬がないため、脳梗塞の兆候がある患者さんもいた」といいます。

困っている人を救えるのはやはり「人」なんだ

「患者さんも落ち着かない状態で、ナースコールも頻繁に鳴る。でも、自身が被災者でもある職員が、笑顔で一生懸命対応している姿に胸が熱くなった。本当に困っている人を救えるのは、やはり人なんだ。こちらが勇気をもらった。震災後約1か月が経過するなか、日々めまぐるしく変わる看護体制に対応しながら、仕事に励む彼女たち



専務理事 中沢祐一さん



看護部長 大池啓子さん(右)
組合員活動部部長 清水竹子さん(左)

の体調面がかなり心配」と大池さん。最終日、泉病院の職員から「来てくれただけでもうれしかった。ありがと」の言葉をもらい、とても温かい気持ちになったという二人。「できることなら、もう少し支援活動したい気持ちになった」そうです。

家族からの言葉が支援活動の力に

「娘からは、お母さんは看護師なんだから、自分の分まで頑張ってきて」と励まされた大池さん。娘さんが看護学生の清水さんは、「驚いたけど、お母さんは行くと思った」と支援活動へ背中を押してくれたそうです。

同組合では、4月17日から20日も宮城県松島海岸診療所へ3人を派遣。「長期的な対応になるが、継続的に職

員を派遣していきたい」と専務理事・中沢祐一さん。支援活動は病院業務から避難所や地域での被災者ケアへと業務の幅が広がるなか、支援を続ける姿勢を語ってくれました。

長野県北部の地震は栄村に甚大な被害をもたらした

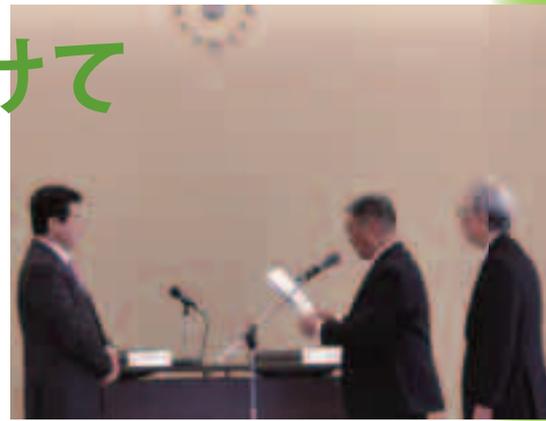
取材当日の4月12日、長野県北部の地震で被害を受けた栄村へ義援金を届けてきたばかりの中沢さんからは、栄村の被災状況についてお話を伺いました。

「栄村はまだ復旧の途中。道路はひび割れ、倒壊している家もあった。今朝、県北部で大きな余震があり心配はつきない」と中沢さん。対応した副村長は、「まだ雪が解けてないため被害の全容はわからない。東北がかなり甚大な被害なので注目されているが、栄村も対応に苦慮している」と話していたそうです。



坂総合病院救急外来

日本のまん中 人がまん中 生活快適都市の実現に向けて



後期基本計画の中間答申がありました

上田市では、市の将来像を「日本のまん中 人がまん中 生活快適都市」と定め、その実現に向けて、計画期間を平成20～27年度までとした第一次上田市総合計画を推進しています。この計画のうち、具体的な施策を定めた前期基本計画が23年度で終了することから、上田市では24～27年度までを計画期間とする「後期基本計画」を策定するため、昨年から総合計画審議会を設置し、審議をしています。これまでの審議結果をまとめた中間答申が、3月23日に行われましたのでその概要をお知らせします。

策定の経過

■総合計画審議会が、市長の諮問を受け、後期基本計画の審議に着手

◇審議会の構成

会長／丸山正明さん(上田市社会福祉協議会会長)、委員／公募委員と市政にかかわりのある各種団体からの推薦委員・有識者など60名

◇会議の開催状況

- ・平成22年10月12日に第1回全体会開催、後期基本計画について市長から諮問、六つの部会を組織(行財政、市民生活・環境、産業経済、都市交通、教育文化、福祉健康)
- ・11月～平成23年1月に部会に分かれて内容を審議(3回)
- ・3月23日、第2回全体会を経て、市長に中間答申

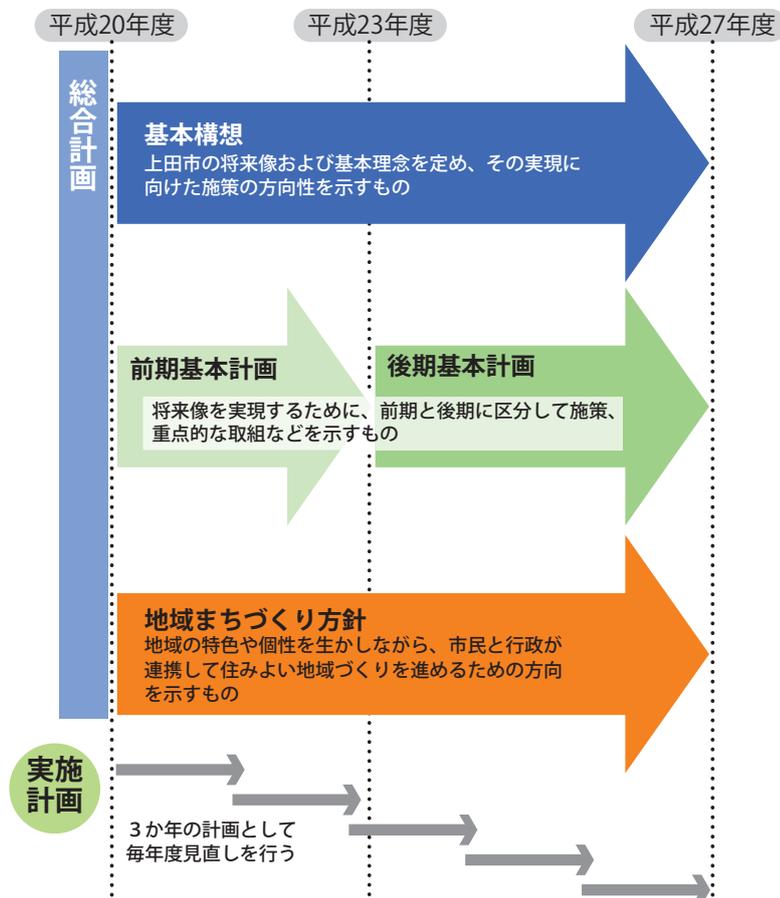
■地域別懇談会で、市民の声を反映

昨年10・11月に、市民の皆さんの意見を計画づくりに反映し、市政への「市民の参加と協働」を図るために、市内9地域に設置している地域協議会と共催で懇談会を開催しました(参加者348人)。

◇主な意見

- ・地域内分権をぜひ進めていただきたい。地域自治センター長の権限、予算執行の枠の拡大をお願いしたい。
- ・後期基本計画の策定に関して市民が出した意見をお互いに知るようにしてほしい。

●総合計画の構成と計画期間



しい。

- ・事業仕分けをして民間に委託するべき事業がかなりある。
- ・市の財政を豊かにするため、産業振興に力点を置いた計画の策定を望む。
- ・農産物に付加価値を付けて観光客に売れば雇用の創出にもつながる。
- ・観光客が増えていることを実感している。若い世代が上田に行きやすいツアーが計画されれば良い。
- ・資源循環型社会の構築について今後どう進めていくのか。市民全体を巻き込んで進めて欲しい。

- ・防災対策で支援が必要な人の登録をしているが、きめ細かな対応が必要である。
- ・モデル事業として実施された教育支援事業が成果を上げている。上田市全域で充実させてほしい。
- ・心の病を持つ人が増加している。大きな問題である。
- ・高齢者にやさしいまちづくり(認知症サポーターの養成、施設整備)を望む。(出されたご意見などは上田市ホームページで詳しく紹介しています)

■中間答申における主な内容 (新たな施策)

前期基本計画策定以後の社会情勢の変化、施策の進捗状況などについて検証しながら、必要な箇所について見直しを行うとともに新たな施策を追加しました。

第1編 コミュニティ・自治

- ・地域内分権の推進(地域予算の拡充、地域自治センター長の権限の見直しなど)
- ・参加と協働のまちづくりの推進(自治基本条例を通じた住民自治の充実、わがまち魅力アップ応援事業など)
- ・行財政改革の継続的な取組(合併による優遇措置期間経過後を見据えた行財政基盤の構築、公共施設全般の在り方の検討など)
- ・魅力ある上田地域広域圏の形成(上田地域定住自立圏の取組)

第2編 産業・経済

- ・農業の産地化の推進(6次産業化や農工商連携の推進など)
- ・経済のグローバル化に対応した上田地域の産業振興(企業誘致に加え、既存企業の市内留置の取組、中小企業支援の強化など、自治体の枠を越えた広域連携による企業間連携の促進など)
- ・低迷する地域の雇用に対応するための取組(勤労者福祉センターを拠点とした求職者などに対する総合的な支援、人材育成に向けた就学中からの職業意識の高揚のための取組など)

第3編 自然・文化

- ・自然との共生のための森林の保護(松くい虫対策)
- ・文化の薫るまちづくりに向けた取組(文化活動の新たな拠点として「交流・文化施設」を整備するとともに地域文化の新たな創造や発信を行う運営管理体制の整備、「交流・文化施設」を拠点とした文化活動の輪が広がるような取組など)

第4編 生活環境

- ・資源循環型社会の構築に向けた取組(市民協働によるレジ袋削減、生ごみの分別回収の体制づくりなど)
- ・環境負荷の少ない施設の再構築(浄水場を利用した太陽光発電の研究、農業集落排水処理場からの汚泥減量化の研究など)
- ・災害に強いまちづくりと体制の整備(市街地を流下する河川、排水路の豪雨対策の整備計画の策定と事業の推進、災害に対する情報伝達手段の充実、

消防団活動に対する市民理解と団員の確保など)

・公共交通の維持・活性化の推進(「乗って残す」、「乗って活かす」を基本とした市民参画による公共交通の利用促進など)

第5編 健康・福祉

・総合保健センターなどを拠点とした各種健康づくり事業の推進(妊婦検診や教室・相談事業の充実、育児不安軽減の啓発、食を通じた子ども達の健全育成など)

・地域の医療体制確保、周産期医療体制の整備のための取組(上小医療圏地域医療再生計画の推進、信州上田医療センターの機能強化、産科医療機関の役割分担と連携強化など)

・子育て支援事業の充実(子ども医療費給付、保育料)

・高齢者が住み慣れた地域で暮らせる地域社会の形成(地域包括ケアの推進、認知症に対する啓発と認知症サポートターの養成など)

第6編 教育

- ・児童・生徒の安全・安心の確保(学校施設の耐震化の推進)
- ・高度情報化社会に対応した幅広い教育の推進(インターネットの有害情報から子ども達を守るための取組など)
- ・核家族化などに対応した子育て支援の環境の整備(社会教育施設や放課後児童クラブなど)
- ・地域が教育を支えるための取組(学校支援地域本部事業や学校を支援する地域ボランティアの活用など)



地域まちづくり方針の答申

■地域まちづくり方針

地域まちづくり方針は、総合計画の一部として、市内の九つの地域の特色や個性を生かしながら市民と行政が連携して住みよい地域づくりを進めるための方向性を示すものです。

市民が自主的に進める各種の地域活動や市民と行政の協働によって実現するものも含まれた地域と行政の共通目標です。

●方針の見直し

平成27年度までを計画期間としていますが、基本計画の策定に合わせて見直しを検討することとしています。後期基本計画の策定に合わせて、市長から九つの地域協議会に見直しの検討について諮問され、3月22日に答申されました。

●9地域の主な見直し内容

○上田中央地域

上田市全体の中心地として、中心商店街の賑わいの創出、JT開発地との融合による新しい将来像を形作っていくほか、保健・福祉・医療のネットワークを充実させる。

○上田西部地域

自治会、各種団体と地域協議会の連携、行政との協働を推進し、地域のコミュニケーション活動拠点の整備に向けた取組を進める。

○上田城南地域

改築される城南公民館をまちづくり活動拠点として活用を図るほか、家庭、地域、学校が連携して、互いの顔が見えるやさしい地域づくりを進める。

○神科・豊殿地域

市民協働によって市民の森などの利用促進を図り、農山村留学や棚田オーナーなど都市農村交流にも活用できる機能を目指す。

○塩田地域

完成した地域自治センターと公民館の複合施設を、地域に密着した親しみやすい活動拠点施設として有効に活用する。

るほか、声かけ運動をしながら、安心・安全な地域を目指す。

○川西地域

地域内で都市と農村との交流を進める団体を中心にして、地域の子どもたちも含めた自然とのふれあいや農林業の体験の拡大により活性化に取り組み。

○丸子地域

おおむねの土地利用計画が決定したカネボウ跡地について雇用と福祉、賑わいと憩いの拠点として、各施設の利用者が相互に利用・交流することで人々の絆が深まる地域づくりを目指す。

○真田地域

観光地として地域住民自らがおもてなしの心を育む活動に取り組みほか、真田氏発祥の地として地域の生活・文化に触れる参加・体験型の観光を進める。

○武石地域

地域の豊かな自然を生かした武石地域全域公園化構想の実現に取り組み、活力ある地域を創造するため、拠点施設の整備など推進し、交流人口の拡大を図る。

後期基本計画のこれからの予定

後期基本計画の中間答申と地域まちづくり方針の答申について整合を図るとともに市民の皆さんのご意見を踏まえて、総合計画審議会で検討し、最終答申に近づけていきます。

中間答申の内容について 市民の皆さんのご意見を募集します。

- 募集期限** 5月31日(火)
- 提出方法**
- ・郵送 〒386-8601 上田市役所政策企画課宛(住所不要)
 - ・FAX 25・4100(政策企画課宛)
 - ・Eメール kikaku@city.ueda.nagano.jp
- ※特定の様式はありませんが簡潔にまとめてください。

中間答申の概要および全編については、上田市ホームページに掲載します。また、各地域自治センター、各公民館でもご覧いただけます。

例が制定されました

「参加」と「協働」自治の原動力に

これからの自治のルールとなる条例

平成23年3月市議会定例会において、上田市自治基本条例案が可決されました。

この条例は、平成20年8月に条例検討委員会を設置して、2年にわたる検討・協議を経てまとめた報告書に基づき、条例の策定に関する基本方針に沿って、市議会の意見を尊重した上で、市としての考えを盛り込んだ内容となっております。

自治基本条例は、これからの上田市の自治の最高規範と位置付けられるもので、この条例を基本として、今後の自治やまちづくりが進められます。

条例の主な内容

◆「市民」を広くとらえ

「自治」と「まちづくり」を定義
上田市に居住する人をはじめとして、本市で働く人や学ぶ人、事業者や自治会、多様な活動を行う団体などの皆さんにも様々な場面で地域にかかわり、本市の自治に参加・参画いただけるよう、この条例では「市民」の定義を広くとらえています。

また、「自治」とは、自分たちが暮らす地域を自分たちの意思と責任で治め

ることとしています。「まちづくり」とは、この上田市を、誰もが住み続けたいと思う魅力的なまちにしていこうためのすべての活動と定義しています。

◆条例の目的

この条例は、本市の自治の主体と位置付ける市民、市議会、市の3者が、それぞれの役割と責務に従い自治を推進することにより、「活力ある自立した地域社会を実現すること」を最終的な目的としています。

◆自治のあるべき姿として掲げる

二つの基本理念

本市における自治の基本理念として、「参加と協働による自治の推進」と、「地域の個性・特性を尊重した「地域内分権による地域の自治の推進」の二つを掲げています。

◆四つの基本原則

基本理念を具体的に実現していくための行動原則として、「人権尊重の原則」「参加の原則」「協働の原則」「情報共有の原則」の四つを、自治の基本原則として掲げています。

◆自治の主体である3者の役割や

責務などを明文化

市の条例として初めて明らかにして

います。

特に、自治の主権者である市民については、「市政に参画することができ「権利をはじめ、三つの権利を保障しています。」

◆「地域コミュニティ」を位置付ける

任意団体として位置付けられる「自治会」、公益性を有する活動を行う団体などの「地域コミュニティ」は、まちづくりの重要な担い手としての役割を有することを明記したほか、「市民」においても、「地域コミュニティが行うまちづくりに積極的に参加し、活動することにより、これを守り育てるよう努める」とする努力規定を設けています。

◆情報共有は参加と協働の第一歩

市民が市政に参画し、まちづくりに積極的に参加していくためには、その前提として、市議会または市、あるいはまちづくりの相手との間で、必要な情報が共有されなければなりません。情報共有は、参加と協働による自治を推進していくための、第一歩と言えます。

この条例では、「情報の提供」と「情報の公開」に関し、その基本的な考え方を明らかにしています。

～活力ある 自立した地域社会をつくる～

上田市自治基本条例

☎ 市民参加・協働推進課 TEL22・4100(内線1354)

◆自治の主体である3者が 発議できる住民投票

地方自治制度は、間接民主主義に基づく市長と市議会による二元代表制を採用していますが、住民投票はこの制度を補完し、住民の意思を的確に把握するための制度です。この条例でも、こうした制度の趣旨を尊重し、住民投票制度を保障するため、その実施および請求に関し規定しています。

なお、住民投票は、この条例の基本理念に掲げるとおり、自治の主体である3者がそれぞれの責務を全うし、様々な論議を経て決定できることを基本として、市民、市議会、市長が請求・発議できるものとしています。

◆必要に応じてリニューアル

この条例は、本市の自治の最高規範と位置付けられるものであることから、社会情勢や経済状況、国の動向などを注視し、条例の内容が時代に合ったものとなつていくかどうか、常に確認していく必要があります。

また、諸々の要件を考え、5年を超えない期間ごとに市長が見直しを行うこととしています。

なお、この見直しに当たっては、主権者である市民の参加が十分に図

られるよう、市民の意見をお聞きするために必要な方法を取ることとしています。

条例の制定とともに 新たな自治・まちづくりが 始まる

市では、市民の皆さんにこの条例の中身を知っていただくための活動を重点的に行っていきます。

条例は、上田市ホームページに掲載していますが、今後、チラシやパンフレットを作成し、お知らせする予定です。また、出前講座も随時受け付けていますので、ご希望の方は5人以上のグループまたは団体でお申し込みください。

「上田市自治基本条例」市民説明会を開催します

最寄りの会場にお越しください。

- 期日／場所
- ・5月23日(月) 上田創造館文化ホール
- ・5月24日(火) 川西地区防災センター(岡公民館)
- ・5月26日(木) 西部公民館大ホール
- ・5月30日(月) 上野が丘公民館大ホール
- ・5月31日(火) 塩田公民館大ホール
- ・6月1日(水) 中央公民館大会議室
- ・6月6日(月) 真田中央公民館大ホール
- ・6月9日(木) 丸子文化会館小ホール
- ・6月10日(金) 武石公民館ホール
- 時間 各会場とも、午後7時～9時



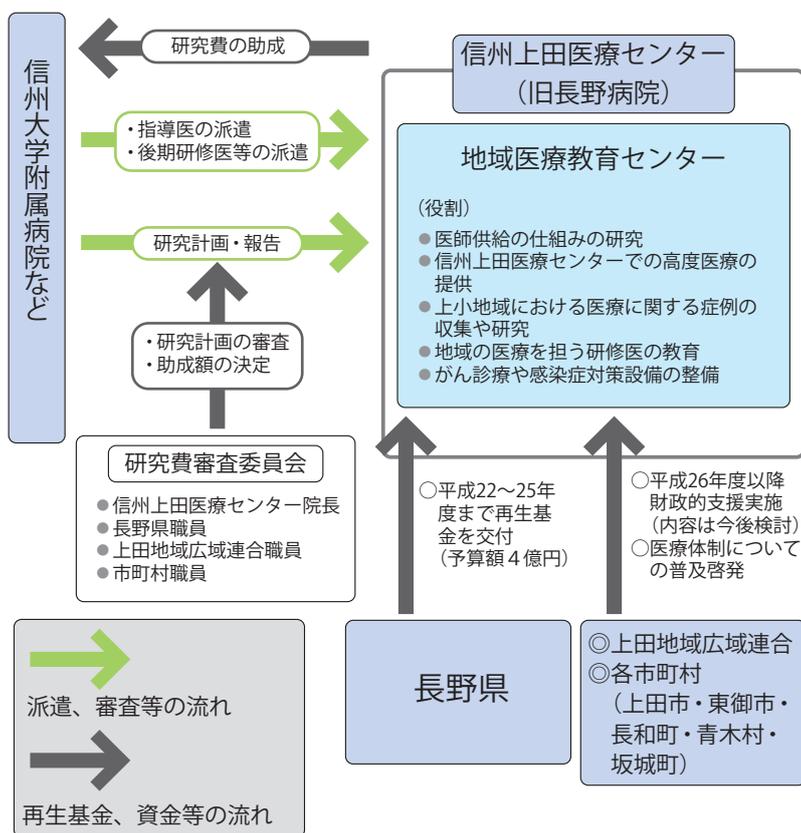
4月1日には、信州上田医療センターで、地域医療教育センター開設並びに名称変更記念式が行われた。



～地域の医療の再生をめざして～

信州上田医療センター(旧長野病院)に 地域医療教育センターが開設されました

地域医療教育センター事業の仕組み



全国的な医師不足の中、上小地域の医療は、大変厳しい状況にあります。なかでも中核病院である信州上田医療センター(旧長野病院)の分岐の休止や、夜間や休日に入院を要する重症患者を受け入れる輪番病院としての機能維持が難しいのが現状です。こうした状況を打開し、地域の医療の再生を図るため、現在、「上小地域医療再生事業」に関係機関が一丸となって取り組んでいます。

この再生事業の目標は、「救急医療

と周産期医療の再構築を核とした上小医療圏の再生」を図ることです。そのためには、信州上田医療センターが地域のの中核病院としての機能を強化することが急務となっていることから、同センターでは、この4月1日に「地域医療教育センター」を開設し、地域の「中核病院としての機能を強化する体制を整備しました。この地域医療教育センターが地域の医療にどのような役割を果たすのかをお知らせします。



旧長野病院は、4月1日から信州上田医療センターと名称変更された。

◎地域医療教育センターとは

信州上田医療センターでは、将来にわたって安定的に医師が確保される仕組みを構築することが必要となつていきます。

地域医療教育センターは、こうした仕組みづくりや研究をする機関であり、医師養成機関である信州大学医学部と連携し、指導的立場にある医師や若手の医師の派遣を受け、信州上田医療センターでの高度医療の提供や若い研修医に対する教育などを実践します。また、教育センター設置に伴い、病院ではがん診療の設備整備などの整備もあわせて行われます。

◎医師が派遣される仕組みは

教育センターが上小地域における医師供給の仕組みや疾病予防などの研究を行うため、信州上田医療センターでは、信州大学等に対して研究費を補助

します。信州大学等では、指導医の後期研修医等を地域医療教育センターに派遣し、病気の症例の収集や分析、地域医療を担う後期研修医等の教育を行います。こうした医師が信州上田医療センターでの医療も担います。

◎上田市と地域医療教育センターの関係

信州上田医療センターが信州大学等に対して行う研究費の補助は、平成25年度で終了します。

上田地域広域連合を構成する上田市、東御市、長和町、青木村、坂城町では、教育センター事業の効果を十分検証した上で、平成26年度以降、上小地域の安定的な医療体制が確保されるまでの間、地域全体で財政的な支援を行うこととしています。

また、地域では住民の皆さんが医療体制についての理解を深めていただくよう、病院と連携し啓発活動を行います。

◎これまでの医師の充足状況は

信州上田医療センターでは、昨年来、整形外科、脳神経外科等で常勤医師が増員され、現在、43人の医師の体制となつていきます。将来的には医師60人台の体制を目指しています。

上田市内科・小児科初期救急センターをご利用ください

上田市では、月～土曜日の夜間に、突発的な発熱などの症状で、翌日までがまんでくれない場合の内科的な初期治療を行うため、上田市内科・小児科初期救急センターを開設しています。

- 診療日 月～土曜日
- 休診日 日曜日・祝日、8月14日～16日、12月30日～1月3日
- 診療時間 午後8時～11時(10時30分までに電話受付をした方)
- 電話相談 午後7時～11時
- 場所 信州上田医療センター敷地内
- 対象 内科系の初期診療が対象で、すべての年齢の方が受診できます。
- 受診の注意 まず電話をしてください(内科TEL21・2280、小児科TEL21・2233)。受診の際は、保険証、福祉医療費受給者証(お持ちの方)、お金をお持ちください。

○明日まで待てない内科的な初期治療とは、突発的な発熱、激しい嘔吐や下痢、急な腹痛、止まらないせきなどです。

「けがなどの外科的な治療」、「予防接種をしたい」、「少し風邪気味」、「薬がなくなった」などの受診はご遠慮ください。

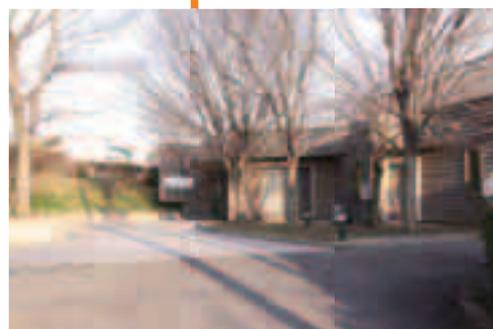
○耳鼻咽喉科については、電話相談時に受診可能な医療機関を紹介します。

※けがなど外科の治療を必要とする場合や、午後11時以降受診する場合は、消防署(救急情報ネットワークシステム)に連絡し、診療可能な医療機関の紹介を受けましょう。

中央消防署 TEL26・0119 南部消防署 TEL38・0119

東北消防署 TEL36・0119 川西消防署 TEL31・0119

※けいれんなど激しい症状がある場合は、あわてず救急車を要請しましょう。



楽しく歩こう！染屋台グリーンベルト 三つの森を丸ごと体験

初夏の青葉の中を、染屋地区にある三つの森を散策しながら、市街地の貴重な緑の価値を見直します。親子で参加大歓迎。あわせて「里やま整備ボランティア」の募集も行ないます。

- 日時** 5月29日(日)午前9時～午後1時
(受付開始午前8時40分・小雨決行)
- 集合場所** 中央公民館正面玄関前
- コース** 中央公民館～「押ししの森」～英神社～「染屋の森」～「北沢の森」～上田東公園～常田池～北沢の森(昼食)～中央公民館(約6km)
- 定員** 50名
- 参加費** 無料
- 持ち物** 飲み物、昼食、雨具
- 申し込み** 5月25日(水)までに住所、氏名、電話番号を電話で公園緑地課へ。

問 市公園緑地課 TEL23・5134



今ある変化を機会と捉える 変化を機会に！ドラッカー講演会



経済の国際化や大震災などの「変化」や「逆境」に対して、企業・社会人として今後どう対応すべきか。今話題の経営思想家P. F. ドラッカーの提言から「変化を機会と捉える発想法」を学びます。企業・病院・学校など、あらゆる組織に活用できる事例を多数紹介します。

- 日時** 5月24日(火)午後3時～4時30分
- 場所** 丸子文化会館
- 講師** 藤田勝利氏(経営コンサルタント・ドラッカー学会員)
- 参加費** 無料
- 申し込み** 前日までに電話で丸子産業観光課へ。

問 丸産業観光課 TEL42・1047

親子で楽しもう 上田子ども劇場第33回地域公演



毎年、心待ちの地域公演がやってきた！

親子で、ライブで、楽しみましょう。今年は「ぱびぶぺば劇場」の公演で、人形劇「のそのそによるによる」と「せりふのない人形劇短編集」を上演します。

日時/場所

5月21日(土)午後3時30分／浦里小学校体育館

5月22日(日)午後3時／青木小学校体育館(青木村)

5月28日(土)午前10時30分／岩門公民館

午後4時30分／丸子文化会館小ホール

5月29日(日)午前10時30分／西部公民館

午後4時／川辺町会館

※開場時間は、開演の15分前です。

チケット 一般券1,300円(3歳以上)

家族券1,000円(大人一人を含む家族3人目から)

当日券1,500円

問 上田子ども劇場 TEL27・4756

上田市文化支援事業

菅平高原で自然を体験 地域青少年育成指導者養成講座

子どもたちを対象に行う、自然体験活動などの指導者を養成する講座です。

日時/内容

① 6月16日(木)午後6時30分～8時30分／体験活動の意義について(講義)

② 7月30日(土)午前8時30分～午後2時／森を感じよう(森の中を散策)

③ 8月18日(木)午後6時30分～8時30分／応急処置講習

④ 9月10日(土)午前9時～午後3時／野外活動講習(危険予知訓練、クラフトなど)

場所

①③は、上田市教育委員会第二庁舎大会議室。②④は、菅平高原地区内(菅平高原までは、上田市教育委員会やぐら下庁舎からバスで移動)

講師

①②④は、NPO法人やまぼうし自然学校。③は、日本赤十字社救急法指導員

対象

18歳以上で、子どもたちを対象にした自然体験活動などに関心がある方

定員

先着40名(4回とも参加できる方を優先。団体での申し込み・回毎の参加も可)

持ち物

1回100円

問 市生涯学習課 TEL23・6370



お知らせ

Information A La Carte

ゴミゼロ運動にご参加を

毎年5月30日はゴミゼロ運動の日です。地区別に日程を分けて、自治会を中心とした空き缶拾いなどの美化活動を行っています。積極的に参加しましょう。

- 期日/地区 5月8日(日)/城下、川辺、泉田、神川、豊殿、川西地区。
- 5月15日(日)/神科、塩田地区。
- 5月22日(日)/東部、南部、中央、北部、西部、塩尻地区。
- 5月29日(日)/武石地区。真田・丸子地区は各自治会の指定日。

☎生活環境課 TEL 23・5120

コミュニティ助成事業を実施しました

上常田自治会では、財団法人自治総合センター所管の宝くじ助成金を受け、常田獅子の面や太鼓・提灯などの整備を行いました。これからも伝承に励み、地域の伝統文化の保存やコミュニティの活性化を図っていきます。

☎文化振興課 TEL 23・6361



個別の運動相談

健康づくり・メタボリックシンドローム予防改善など個別の運動相談を行います。現在治療中の方は主治医と相談の上、ご予約ください。

- 日時 毎月第2火曜日午前9時～午後3時(予約制、一人約1時間)
- 場所 ひとまちげんき・健康プラザうえだ2階運動ルーム
- 対象 20歳以上の上田市民
- 定員 1日5名
- 参加費 無料

☎健康推進課 TEL 28・7123

ふれあい看護

看護師や栄養士が各種測定などを行います。

- 日時 5月11日(水)午前9時～午後3時
- 場所 信州上田医療センター(旧長野病院)正面玄関エントランスホール
- 内容 血圧測定、骨強度測定、体脂肪測定、栄養士による栄養相談。
- 参加費 無料(申し込み不要)

☎信州上田医療センター TEL 22・1890

お知らせ/催し

催し

Information A La Carte

エコ・ハウス開館10周年記念わくわくフェスタ

ごみの減量化とリサイクルを推進するための活動や情報発信の拠点であるエコ・ハウスの開館10周年を記念して、わくわくフェスタを開催します。お気軽にお出かけください。(新生上田市5周年記念事業)

- 日時 5月29日(日)午前10時～午後4時
- 場所 上田創造館
- 内容 ①宝の山市/午前10時～11時、不用品のバザー、食器棚などのオークションも行います(売上金は義援金として被災地へ送ります)。
- ②手づくり品の展示販売/午前10時～午後4時。
- ③記念行事/午後1時～(1)エコ・ハウス活動報告。(2)講演「バイオマス資源の有効活用」生ごみリサイクルの意

上田市民ゴルフ大会クローバー杯を開催

上田市民の健康増進と交流、およびゴルフの普及をねらいとして開催します。

- 期日 ①7月2日(土)、②7月3日(日)、③7月4日(月)
- 場所 ①②は、上田丸子ゴルフヴィリオリオゴルフ倶楽部。③は、上田菅平高原ゴルフヴィリオリオゴルフ倶楽部。
- 部門 一般、シニア、グランドシニア、レディース

☎廃棄物対策課 TEL 22・0666

義/藤原俊六郎氏(明治大学農学部客員教授)。入場者にはリサイクル品をプレゼントします。(3)アトラクション/西内小学校金管バンド・上田アンサンブル・オーケストラの演奏。

今月の表紙



新しい保育園で入園式

泉田保育園と小泉保育園が統合し、新しく開園した「泉田保育園」の入園式が、4月4日に行われました。

今年度は、園児88名でスタートし、その内の新入園児は、36名です。登園した子ども達は、園舎の入り口で、「おめでとう」と先生に声をかけられ、新しい名札を付けてもらい、うれしそうでした。

入園式会場のリズム室に入場した園児は、式の前に緊張をほぐす手遊びで、手を動かし、少し落ち着いてきた様子に。式では元気に「春がきたんだ」の歌を、みんなで歌いました。

シリーズ

うめちゃんが
行く! ③



映画のロケが見たい!

映画のロケが見たいということで、エキストラ登録を済ませた真田うめちゃん。フィルムコミッション(FC)の事務局から連絡を受け、さっそくロケ地へやって来ました。

- うめ エキストラの登録をしてから随分待ったんですよ!
- FC 登録をしても、すぐに映画やドラマに出られるわけではないんだ。作品によってエキストラがいない場合や、必要であっても全員が募集の対象になるわけではないんだよ。
- うめ どうやって決まるの?
- FC 監督が撮影するシーンを想定し、どんな人が必要か、ストーリーにあわせた時代背景や季節設定、ロケ地の広さなどの細かな条件から決めるんだよ。
- うめ 今まで上田でどんな撮影があったの?
- FC 例えば2009年に公開された映画「ゼロの焦点」では、3日間で延べ500人が動員されたんだ。設定は昭和30年代の冬の金沢で、撮影は信州大学繊維学部の講堂。その時は時代背景を踏まえて、茶髪や長髪の男性は不可という条件で募集をかけたんだよ。
- うめ どんな人でもいいというわけじゃないんですね!
- FC 作品によっては身長や体重まで制限されたり、頭髪を黒く染めたり、おかつぱ頭になってもらったこともあるよ。
- うめ え〜! 今日は何も準備してこなかったけど...
- FC 大丈夫(笑)。撮影現場に、衣装やメイク道具などすべて用意されているからね。面倒なことはなにもないよ。
- うめ とっても気楽だね。安心しました。



映画「嫌われ松子の一生」
塩田中学校ロケにて歌唱指導を受けるエキストラ

問 信州上田フィルムコミッション TEL23・5408

- 対象 市内在住・在勤の一般男女
- 定員 ①③は170名、②は200名
- 参加費 一人2000円(別途プレー代、当日徴収)
- 申し込み 5月9日(月)〜6月17日(金)までに、申込書に必要事項を記入し、体育課、または丸子総合体育館、真田・武石地域教育事務所へ(できるだけ4人一組で申し込みください)。
- 問 体育課 TEL23・6372

マルチメディア
デイジーの講演会

- 点字図書館開館55周年記念事業として、読みに困難を伴う方を幅広く支援するデジタル録音図書マルチメディアデイジーについての講演会を開催します。
- (新生上田市5周年記念事業)
- 日時 6月3日(金)午後1時〜3時
- 場所 中央公民館3階大会議室
- 講演 マルチメディアデイジーの

おはなし会を開催します

お話を楽しむ会の皆さんによる絵

- 概要と将来像
- 講師 河村宏氏(DAISYコンソーシアム会長)
- 参加費 無料
- 申し込み 5月25日(水)までに点字図書館へ。
- 問 点字図書館 TEL22・1975

- 本の読み聞かせや、大型絵本などを
お楽しみください。
- 日時 5月21日(土)午前10時30分〜
- 場所 丸子金子図書館2階
- 問 丸子金子図書館
TEL42・2414

お知らせ

有害鳥獣に対する 侵入防止柵設置に助成します

イノシシやニホンジカ等の被害を防止するため、個人などの畑で侵入防止柵を設置する際に、電気柵やネット等の資材購入に対して助成しますので、ご活用ください。また、有害鳥獣による農作物被害でお困りの方、集落ぐるみでの侵入防止柵設置や緩衝帯整備(やぶの刈払い等)をお考えの方はご相談ください。

●補助率 10分の3以内(限度額7万円)

| | | |
|---|-------|------------|
| 市 | 森林整備課 | TEL23・5124 |
| 区 | 産業観光課 | TEL42・1037 |
| 区 | 産業観光課 | TEL72・4330 |
| 区 | 産業観光課 | TEL85・2828 |



催し/講座・教室

名所めぐりで 城下町博士になろう!

今年も恒例の名所めぐり(スタンブラリー)を開催します。上田城下町の路地裏を歩いて物知りになりましょう。新しい発見をしてみませんか。

- 日時 5月28日(土)午後1時~
- 場所 上田城跡公園集合・出発
- ゴールは上田商工会議所
- 参加費 3000円(保険料など)
- 申し込み 電話で上田・城下町活性化会へ。

問 上田・城下町活性化会(上田商工会議所内) TEL22・4500

「幸せの経済学」上映と みんなでトーク&カフェ

本当の豊かさとは何か、考える

きっかけになるドキュメンタリー映画を上映し、終了後ゆっくりお茶を飲みながら語らいます。マイカップをご持参ください。

- 日時 5月22日(日)午後1時30分~4時30分
- 場所 塩田公民館大ホール
- 参加費 1000円(ドリンク付です。経費実費以外は東日本大震災義援金とします)
- その他 託児あり(要予約)

問 蚕都くらぶ・まゆゆ(竹内) TEL080・1341・4764

別所線と走ろう歩こう ラン&ウォーク

別所線に沿って、上田駅から別所温泉駅までランニング、ウォーキングします。震災へのチャリティイベントとして開催します(参加費有)。

- 日時 5月21日(土)午前9時~午後4時
- 集合場所 アリオ上田(当日参加可)

問 別所線と走ろう実行委員会 TEL38・3802

講座・教室

Information A La Carte

インターバル速歩講座 (6~10月)募集

インターバル速歩は、歩数計の小さな小さな測定装置(熟大メイト)をつけて、速い歩きとゆっくり歩きを交互に繰り返す歩き方です。一般のウォーキングよりも短時間で持久力や体力アップの効果が得られ、また体脂肪や血中脂質などの値の改善も期待できます。

「体力測定と血液検査、熟大メイトの使い方」を次のいずれかの日程で行い、その後各自で4か月間インターバル速歩を実践し、10月に再び体力測定を行います。

- 日時 ①6月6日(月)午前8時30分~正午、②6月8日(水)午前8時30分~正午、③6月13日(月)午後6時30分~9時30分
- 場所 ひとまちげんき・健康プラザうえだ2階多目的ホール
- 対象 20歳からおおむね69歳以下の上田市民で①~③の日程いずれかに必ず参加できる方
- 定員 ①~③各20名(応募多数の場合)

<広告欄>

医療法人三折堂

宮下 医院

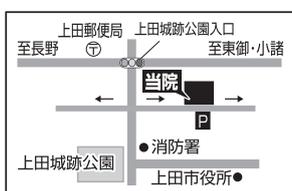
神経内科・内科・胃腸内科

〒386-0023 長野県上田市中央西1-15-12

TEL 0268(22)4328 FAX (26)8231

- 理事長/宮下美生 消化器病専門医(日本消化器病学会認定)
- 院長/宮下暢夫 神経内科専門医(日本神経学会認定)

診療時間 午前 9:00~12:00
午後 3:00~6:00
休診日 土曜午後・日曜・祝日



神経内科

※初診の方は予約をおすすめします。

頭痛・めまい・しびれ・ふるえ・歩行障害・認知症などを来たす脳神経系の病気を診断し、内科的に治療する科です。

主要設備

オープン型MRI、超音波検査装置(腹部一般、頸動脈エコー)、胃・大腸内視鏡、レントゲン、筋電図検査装置等

市 上田市役所 tel.22・4100(代) fax.25・4100(代) 丸 丸子地域自治センター tel.42・3100(代) fax.43・3666(代)
 真 真田地域自治センター tel.72・2200(代) fax.72・4140(代) 武 武石地域自治センター tel.85・2311(代) fax.85・2313(代)

お知らせ

アリオ上田に
上田市インフォメーションコーナーを設置

アリオ上田および上田ケーブルビジョンのご協力により、アリオ上田に「上田市インフォメーションコーナー」を設置しました。上田市の観光パンフレット・マップ、広報うえだ・市からのお知らせ、そして中心市街地の商店街情報を発信しています。また、42型テレビでは、上田市行政チャンネルやDVDが視聴できます。

市外から来た方はもちろん、市民の皆さんにも改めて上田市の観光地情報や、おいしい店舗情報を手に入れていただき、まち中へお越しいただけるようお待ちしております。

問 市商工課 TEL23・5395



講座・教室

レディース・シニア
ゴルフ教室(夏期)

- 参加費 3000円
- 申し込み 5月18日(水)までに電話で健康推進課へ。
- 問 市健康推進課 TEL28・7123
- 期日 6月22日からの毎週水曜日(全9回)
- 場所 上田太郎ゴルフ練習場
- 対象 市内在住・在勤の女性、50歳以上の男性(学生除く)
- 定員 先着30名

ひきこもり家族教室

- 参加費 3600円(教室初日に徴収、使用料などは別途)
- 申し込み 5月11日(水)～6月1日(水)に、体育課または、上田城跡公園体育館、自然運動公園体育館、丸子総合体育館、真田・武石地域教育事務所へ。
- 問 市体育課 TEL23・6372
- 何らかの原因で、ひきこもり状態になる方が増えています。家族のひきこもりについての正しい理解と対

「信州上田の偉人」講座

- 上田市出身または縁の人物で、国内や世界で活躍した先達者をテーマに、人物像や業績について学びます。
- 日時 5月28日(土)午後1時30分～3時
- 場所 上田商工会議所5階ホール
- 内容 久米正雄「父の死」より
- 講師 土屋郁子氏(前池波正太郎真田太平記館館長)
- 定員 先着100名
- 参加費 無料
- 申し込み 電話で中央公民館へ。
- その他 駐車場は上田市役所または近隣の民間駐車場(有料)をご利用ください。
- 問 中央公民館 TEL22・0760
- 応が、本人の回復の一步につながります。一緒に学んでみませんか。
- 日時 5月23日(月)午後2時～3時30分(1時30分受付開始)
- 場所 ひとまちげんき・健康プラザうえだ2階多目的ホール
- 内容 講演「ひきこもりとは」/吉田朋孝氏(滝澤病院院長)、交流会
- 対象 上田市民
- 参加費 無料
- 申し込み 5月20日(金)までに電話で健康推進課へ。
- 問 市健康推進課 TEL23・8244

<広告欄>

アカチャンホンポアリオ上田店
4/29(金・祝)～5/9(月)
オープンセール第2弾開催中!



募 集

ファミリー・サポート・センター講習会と会員募集

上田市ファミリー・サポート・センターでは、子育てに役立つ講習会を開催するとともに、会員の募集を行います。電話で申し込みのうえお越しください。

◇講習会開催日と内容

| 開催日 | 受付時間 | 講習時間 | 内 容 |
|--------------|---------------|---------------|---------------------------|
| 5月19日 (木) | | 午後1時～2時 | ファミリー・サポート・センターの説明 |
| | | 午後2時10分～3時30分 | 子どもの遊び |
| 5月20日 (金) | 午後0時30分～0時50分 | 午後1時～2時 | 子どもの食事・健康管理 |
| | | 午後2時10分～3時30分 | 子どもの身体の発達と病気 |
| 5月24日 (火) | | 午後1時～2時30分 | 子どもの心の成長とその背景 |
| | | 午後2時40分～3時30分 | 保育の心・子どもの世話 サブリーダーとの交流 |
| 5月25日 (水) | | 午後1時～2時 | チャイルドシートの着用 |
| | | 午後2時10分～3時30分 | 子どもの事故と安全対策 |

- 場所 ふれあい福祉センター2階大会議室
- 参加費 無料(託児あり・要予約)
- 申し込み 電話で上田市ファミリー・サポート・センター本部へ。

◇募集会員

- ・依頼会員(子育ての援助を受けたい方)
市内在住または在勤のおおむね生後3か月以上12歳までの子の保護者の方
- ・提供会員(子育ての援助ができる方)
市内在住で子どもを自宅で預かれる方・乳幼児や児童の保育に熱意のある方
- ・両方会員
依頼会員、提供会員両方に該当する方
- 料金 月～金曜日(祝日・年末年始除く)
午前7時～午後7時まで1時間600円、これ以外の時間1時間700円
入会金・年会費無料
- 持ち物 入会者(保護者)の顔写真(2×3cm)2枚・印鑑

問 上田市ファミリー・サポート・センター本部 TEL/FAX21・3016

丸子支部 TEL43・2566 真田支部 TEL72・2998 武石支部 TEL85・2466

日商簿記検定3級 取得準備講座

簿記の基礎を学び、就職、転職に役立てましょう。11月の試験に向けて学習します。

●日時 6月21日～11月15日の毎週
火曜日と、8月17日(水)、11月18日
(金)の午後6時30分～8時30分。た

だし、8月9日(火)・16日(火)は休み
(全22回)

- 場所 市民プラザ・ゆう会議室
- 対象 市内在住・在勤の方
- 定員 先着30名
- 参加費 受講料6600円(別途
テキスト3冊4515円)
- 申し込み 5月11日(水)～6月13日
(月)に、受講料を添えて市民プラザ・

問 ゆうへ。
市民プラザ・ゆう
TEL 27・2988

信州上田医療センター 第58回市民公開講座

●日時 5月21日(土)午後1時30分～
2時30分

<広告欄>

ガーデニング墓地
塩田霊苑

永代使用料35%以上OFF
特別価格キャンペーン中

※管理者常駐 ※宗教・宗派は自由
塩田霊苑管理事務所 ☎0120-60-8383

◆お問い合わせ・お申し込み◆

■指定石材店
有限会社 七久里石材店

上田市常磐城5-2-5(18号線沿 上田警察署入口)
TEL.0268-22-8276 FAX.0268-22-8520

| 霊域 区名 | 寸法 | | 面積 | | 通常永代 使用料 (円) | 10周年記念 永代使用料 特別価格 (円) | 年間 管理料 (円) |
|----------------|-------|-------|----------------|------|--------------------|-----------------------------|------------------|
| | 間口(m) | 奥行(m) | m ² | 坪 | | | |
| 霊地A (36区画) | 2.00 | 2.43 | 4.86 | 1.47 | 721,000→ | 430,000 | 4,800 |
| | 2.00 | 2.71 | 5.42 | 1.64 | 805,000→ | 480,000 | 4,800 |
| 霊地B (58区画) | 2.00 | 2.43 | 4.86 | 1.47 | 721,000→ | 430,000 | 4,800 |
| | 2.00 | 2.71 | 5.42 | 1.64 | 805,000→ | 480,000 | 4,800 |
| 霊地C (77区画) | 1.84 | 2.43 | 4.47 | 1.35 | 495,000→ | 300,000 | 4,200 |
| 霊地D (133区画) | 1.84 | 2.43 | 4.47 | 1.35 | 495,000→ | 300,000 | 4,200 |
| 霊地E (60区画) | 1.84 | 2.43 | 4.47 | 1.35 | 495,000→ | 300,000 | 4,200 |
| 霊地F (160区画) | 1.84 | 2.43 | 4.47 | 1.35 | 495,000→ | 300,000 | 4,200 |
| | 1.29 | 1.38 | 1.78 | 0.53 | 192,000→ | 120,000 | 1,500 |
| 霊地G(137区画) | 1.84 | 2.43 | 4.47 | 1.35 | 495,000→ | 300,000 | 4,200 |
| 霊地H(101区画) | 1.84 | 2.43 | 4.47 | 1.35 | 495,000→ | 300,000 | 4,200 |

見学ご希望のお客様は
当社までご連絡下さい。
送迎いたします。

96

万円

F区画
永代使用料など
すべてを含めて

講座・教室

キラリ★輝く子どもたち!

地域の皆さんと自然に包まれて輝く子どもたち

西塩田保育園

西塩田保育園は塩田地域の西部、^{どっぴん}独鈷山の麓にあり、豊かな自然に恵まれています。昭和50年に旧野倉保育園、平成13年には旧ふたば保育園を統合し、現在に至っています。

園の特色の一つとして、隣接するさくら国際高校と年間を通して行う温かい交流があります。同校の入学式と卒業式では、年長児が高校生と手をつないで入場し、精一杯の歌とお祝いの言葉を贈ります。一方、春と秋の園の運動会では、高校生が素敵な入場門や応援旗を作るなど準備を手伝ってくれます。そして、綱引き、玉入れ、かけっこなどの競技を一緒に楽しみます。また、同校の授業の一環の交流もあり、年少児や3歳未満児などの小さい子どもと触れ合いを楽



ねらいを定めてぶつけちゃうよ！
みんな大好きドッチボール！！

しんでいます。園児はお兄さん、お姉さんと親しみ、高校生は幼い子どもたちの世話をする中で、お互いに影響し合って成長しています。

また、保護者がクラスで絵本を読んでくれる「親子絵本の会」が月1回あります。「今日はどんな絵本だろう？」と子どもたちは毎回楽しみにしています。

戸外遊びも活発に行っています。子どもたちは寒い日も暑い日も庭に出て砂遊び、縄跳び、鉄棒、鬼ごっこなどをして元気に遊びます。大きな子どもたちは、ドッジボールもきちんとルールを守りながらできます。散歩にもよく出かけます。特に、「山王山公園」や「夢の森」は子どもたちの大好きな場所です。時々地域の方が知らない場所に案内してくれることもあります。地域の皆さんに、いつも温かく見守られ、大切に育てられている子どもたちはとても輝いています。

さくら国際高校のお姉さんと、どちらが速いかよーいドン!



- 場所 信州上田医療センター(旧長野病院)地域医療研修センター13階講堂
- 講演 ここまで来た!脳卒中と脳腫瘍の治療
- 参加費 無料(参加者は駐車場無料、予約不要)
- 信州上田医療センター
TEL 22・1890

- ### デコ弁でGOー
- 託児付の料理教室で、デコレーション弁当を作ります。
 - 日時 5月19日(木)午前10時~午後1時
 - 場所 神川地区公民館
 - 定員 15名

- 参加費 受講料1000円、材料費700円
- 持ち物 エプロン、バンダナ
- 申し込み 5月9日(月)午前9時以降、電話で神川地区公民館へ。
- 神川地区公民館
TEL 25・1682

<広告欄>

ぬくもりと笑顔あふれる、本物の住まい



当社は全棟 ★長期優良住宅
★ふるさと信州・環の住まい
で造ります!

5月のイベント予定

- 15(日) 住まい教室「美し信州建設の家造り」
- 28(土)29(日) お住まい完成見学会

※詳しくはHPをご覧ください!

陽なたの家 開館日: 土曜・日曜・祝日 AM10:00~PM5:00
モデルハウス 平日・上記時間外でもご連絡いただけましたらご案内致します。

太陽光発電 + OMソーラー
光と熱を上手に使う
ハイブリッド住宅です!

陽なたの家



美し信州建設 株式会社
TEL 0268-27-6667

家庭介護教室を開催

家庭での介護、認知症について学びます。

●日時 5月11日(水)午後2時～3時30分

●場所 信州上田医療センター(旧長野病院)地域医療研修センター1階3階講堂

●参加費 無料

●申し込み 事前に電話でお申し込みください。

●問い合わせ 信州上田医療センター地域医療連携室 TEL 22・1890

グラウンドゴルフ講習会 受講者募集

●期日 6月6日～7月4日の毎週月曜日(全5回)

●場所 上田城跡公園多目的広場(上田城跡公園グラウンドゴルフ場)

●対象 市内在住・在勤の方

●定員 20名

●参加費 500円(講習初日に徴収)

●申し込み 事前に電話でお申し込みください。

●その他 運動できる服装でお越しください。

●問い合わせ 上田市グラウンドゴルフ協会

TEL 090・9244・0250 (猪飼)

募集

初級・中級英会話教室 受講生募集

●期間 6月～平成24年3月(前期・後期各10回の年間20回)

●場所 丸子公民館

●コース 初級(初心者対象、日本人講師)／月2回程度、金曜日の午後7時～8時、中級(外国人講師)／月2回程度、火曜日の午後7時～8時

●対象 市内在住・在勤の成人

●定員 初級、中級とも各先着20名(定員の半分以上にならないと開講できない場合があります)

●受講料 2万円(前期・後期各1万円)

●申し込み 住所、氏名、電話番号、希望のコースを電話で、丸子公民館へ。

●問い合わせ 丸子公民館 TEL 42・3147

市民農園利用者を追加募集

市内の市民農園の空き区画について、随時利用申し込みを受け付けます。契約後、直ちにご利用いただけます。詳細はお問い合わせください。

●追加募集地区 常磐城、諏訪形、神川黒坪

●申し込み 電話で農政課へ。
●問い合わせ 農政課 TEL 23・5122

市民健康体力づくり 参加者募集

どなたでも気軽に参加できるスポーツ教室です。

●日時 毎週木曜日(年45回)午前10時～正午(受付午前9時30分)

●場所 上田城跡公園第2体育館

●内容 ダンス、バドミントン、卓球、太極拳、スマイルボウリング、腰痛健康体操

●参加費 1回200円 年会費1000円

●持ち物 室内用運動靴

●問い合わせ 体育協会事務局 TEL 27・9400

第39回東信美術展 作品公募

日本画、洋画、彫刻、工芸の作品を一般公募します。

●作品搬入日時 5月13日(金)正午～午後1時30分

※出品規約などはお問い合わせください。

●展示会日時 5月15日(日)～22日(日) 午前9時～午後5時(最終日は午後4時まで)

●場所 上田創造館文化ホール

●入場料 大人350円、学生200円、小・中学生、障がい者、高齢者(75歳以上)無料

●問い合わせ 東信(上小)美術会(宮下) TEL 27・2134

<広告欄>

営利を目的としない助けあいの制度

① 共済金を真っ先に

何よりまずは共済金。お支払いを最優先にしています。

② コストは抑えて

経費を必要最小限にするため、低コストの運営に徹しています。

③ 剰余金は割り戻し

剰余金は割戻金としてご加入者へ公平にお戻ししています。

昨年度もムダなく健全に!

平成21年度も、金金の8割強が共済金と割戻金に当てられました。

右側：県民共済グループの収支状況 (平成21年度、すべての共済事業の合計) ※(賞金後継準備金・事業費など)

掛金還元率…82% この部分がご加入者へ還元されます

選ばれる理由

長野県民共済

共済取扱団体 / 長野県認可 / 長野県民共済生活協同組合
共済元受団体 / 厚生労働省認可 / 全国生活協同組合連合会 <http://www.kyosai-cc.or.jp/>

[上田] ☎ **0268-24-3985(代)**

〒386-1104 上田市福田下田9-33 FAX 0268-24-3902

資料請求はホームページからどうぞ。

長野県民共済 検索

www.nagano-kyosai.or.jp/

携帯から ▶ <http://kyo-sai.jp/nagano/> / 携帯サイトのバーコード

SBCラジオ 県民共済放送 [YES!]
制作発表会 聞いてある名だ! 毎週
日曜日18:05～(95分間)放送

口座振替取扱金融機関
八十二銀行 ゆうちょ銀行

※掛金の口座振替については古の金融機関
からしかご利用できません。※掛金は
銀行の窓口ではお申し込みいただけません。

みんなに愛される里山に、 愛宕山周辺を整備しています

横山勇徳さん 増田敏雄さん 内久根恒さん



仁古田自治会の南側に位置する愛宕山は、「火伏せの神様」といわれる愛宕神社とともに、里山として区民に親しまれています。10年前からは、松くい虫防除対策の樹種転換事業が実施され、数千本のヤマザクラなどの苗木を植林してきました。また、森林保護組合、氏子総代の皆さんと観賞用の桜も数百本植樹してきました。

「昨年の春ようやく桜が開花した。桜の名勝地になる日が楽しみ」と、経過を話してくれた実行委員会の前委員長・横山勇徳さん(写真の中央)。現委員長の増田敏雄さん(写真の左)とともに、一昨年、自治会内に実行委員会を立ち上げました。

仁古田自治会の「愛宕山ふれあい遊歩道整備事業」は昨年度、わがまち魅力アップ応援事業の採択を受けました。今年度は事業の2年目となり、桜等の植樹、歩道整備、山頂の御嶽大権現石碑付近の整備を行います。

1年目は、150本の桜の植樹、遊歩道約700mを新設し、昨年9月12日の遊歩道開通イベントでは山頂の神楽殿で獅子舞の奉納を開催しました。誰もが登りたくなる里山として、愛宕山を整備していくことで、子どもから大人まで輪が広がり、自治会全体の活性化や郷土愛を培ってほしいとしています。

「愛宕山にはさっぱり人が登らなくなってしまい残念だった。気軽に登ってもらうためには遊歩道を整備すべきと思います、わがまち魅力

アップ応援事業に応募した」と言います。昨年の遊歩道整備では、第六中学校の生徒がふるさとタイムの時間を使い、山頂までの距離を計るなどのお手伝いをしました。今年度は、桜等の植樹、遊歩道や石碑周辺の整備を計画しているそうです。取材に伺った4月8日、愛宕神社まで登ると、見晴台からは360度の大パノラマを堪能できました。石碑の前で、「今年の元旦、東塩田から登った朝日が石碑に当たり赤く映し出されたのが神秘的だった。この山を中心に、独鈷山や子檀嶺岳等の山頂が位置しており、パワースポットかもしれない」と増田さんが話してくれました。



わがまち魅力アップ応援事業を紹介するコーナーです。

<広告欄>



あおやぎ眼科

AOYAGI EYE CLINIC

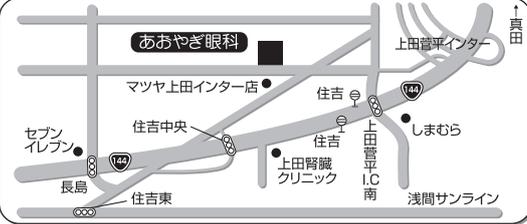
眼科各種手術 ●入院設備あります ●駐車場30台
(白内障・緑内障・網膜剥離術・硝子体切除術・眼瞼内反症・眼瞼下垂症等)

〒386-0002 上田市住吉577
(マツヤ上田インター店前)

TEL.0268(28)6688

| 診療時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|--------------|---|----|---|----|----|---|
| 午前9:00~12:00 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 午後2:30~5:00 | ○ | 手術 | ○ | 手術 | 手術 | × |

休診日
日曜・祝日・月曜午前・土曜午後
火曜午後(手術)・木曜午後(手術)
金曜午後(手術)



有料広告掲載のお問い合わせは、上田市秘書課(TEL23・5149)または(有)ダンディ信濃・トミー企画(TEL23・1706)へ。

4月5日、武石小学校で入学式が行われました。入学式の会場になったのは、この3月に完成した真新しい体育館です。

今までは、社会体育施設の武石体育館を学校の体育館としても共用してきましたが、昨年度新たに小学校専用の体育館が建設されました。新しい体育館は、鉄骨造2階建てで、延べ床面積は1,712.33㎡。高い天井と広々としたアリーナは開放感にあふれています。屋根には太陽光パネルが設置され、体育館入り口のモニターで発電量を確認することができます。また、災害が発生した際には、避難施設としても使用されることから防災備蓄庫が備えられ、食料や資機材が保管されます。4月末に外構工事も完成し、5月6日に完成祝賀式が開催されます。

入学式では、新入生が新しい体育館に入場すると、2年生から6年生までのお兄さん、お姉さんが大きな拍手で迎え、1年生は少し緊張した様子でステージ前に並んでいました。

武石小学校体育館完成 新しい体育館で 新入生を迎える



四ツ葉スケッチ

このコーナーでは、4地域の話題や出来事などを紹介しています。

わがまち魅力アップ応援事業実績報告会

地域の個性を磨き上げ

きずな
絆を深める



意見交換会では、委員から、「地域内に複数ある花や桜を保護する団体同士が連携してはどうか」、「活動内容をもっと情報発信して欲しい」などの意見が出されました。団体からは、「地域協議会で団体の交流会を開催してもらいたい」などの意見が出され、活発な議論が交わされ、有意義な情報交換の場となりました。

3月18日、丸子地域自治センター講堂で平成22年度わがまち魅力アップ応援事業実績報告会が、丸子地域協議会にあわせて開催されました。

報告会には、昨年度事業補助を受けた12団体が出席し、それぞれの事業の成果などを、地域協議会の委員に説明した後、委員と団体との意見交換が行われました。

事業報告では、事業を実施することで、地域内の世代を超えた交流が深まったことや、ノウハウを持つ他市の団体との交流の効果が、隣接する自治会同士の新たな交流の場が生まれたことなどが紹介されました。



今年の上田城千本桜まつりの開催にあたり、まつりに関連ある商品と、食をテーマに中心商店街の活性化をねらったマップが作られ、発売や頒布されました。

まつりに先立ち3月29日には、企画した3団体が母袋市長に面会し、商品などを紹介しました。企画品は、兜の角に見立てたエビフライと六文

銭の形にオリブをカレーに乗せた(株)セーブオンの「真田幸村赤備えカレー」。上田城や桜、市内景色の写真を入れ、大判の珍しい切手もある、上田郵便局上田東部会の「夢とロマンの里信州上田フレイム切手」と「上田城千本桜まつりフレイム切手」。マップは、信州上田まつり実行委員会による「信州上田つまいもんマップ千本校編」で、市街地59の飲食店を紹介。まつり期間中に上田城を訪れた人を街なかへと誘導するねらいがあります。

母袋市長は、「千本校まつりも8回目を迎え、皆さんの努力で商品開発も見えてきました。地域の素材を生かして、開発していただいたのが何よりです」と話していました。



上田市とのタイアップ企画商品発売 千本桜まつりから地域振興



傍陽小学校入学式

富士山が見える新校舎が間もなく完成

澄みきった雲ひとつない青空となった4月5日、市内小中学校の入学式が行われ、傍陽小学校では完成間近の新校舎を眺めながら、真新しいランドセルを背にした新一年生が、元気に登校しました。

昨年7月に起工式が行われた校舎改築工事は終盤を向かえ、これまで建物の周囲を覆っていた工事用の足場などが取り外され、新校舎の外観がはっきりと見えるようになりました。

この新校舎に負けず輝く新一年生は、保育園や幼稚園とは違う雰囲気、少し緊張した様子でしたが、入学式会場に入場する時には6年生に手をつないでもらい安心したようで、新しい仲間を迎える在校生に笑顔を見せていました。

5月21日と23日には保護者と児童による新校舎への引越し作業が予定されています。晴れていれば、校舎から見えた富士山が、工事中の新校舎にさえぎられて見えなくなりましたが、新しい教室の窓から、遠く望む富士山を見つけて、元気な声が聞こえるのも間もなくです。





上田のうまいもんを観光客に伝えたい!!
提供/信州上田まつり実行委員会

4月に開催された上田城千本桜まつりは、昨年発足した市民団体や企業の33団体で構成される「信州上田まつり実行委員会」の主催による最初のイベント。

実行委員会は、観光イベントを開催することにより地域が潤い元気になることを目標の一つとしています。観光客がもっと上田に関心を持つってもらうために何をPRすればいいか、会議の中で出た答えが「食」でした。

4月9日・10日には、千本桜まつりの一環として、上田のご当地グルメを紹介する「信州上田うまいもん大集合」を開催しました。市内から13ブースが出店し創作された上田ならではの「うまいもん」を低価格で販売しました。当日は大勢の来場者があり、完売するブースが続出するなど食の魅力を存分に紹介することができました。

実行委員会事業部会の部長・中澤信敏さんは、「食をテーマにした取組みは、観光の大きな魅力であり成果につながったと思う。観光客へのおもてなしの心をこめて創作された「食」を集めたうまいもんマップをリニューアルし、紅葉まつりでも食をPRできるように仕掛けていきたい」と話してくれました。



読者通信は、市民の皆さんからの話題提供や投稿でつづるコーナーです。